



報1面から

56800円
助告
2万5000円

薬剤師の初任給が企業規模未
満では22万7026円、
5364円、依然とし
2万円程度の差が見られ
ついで、500人以上の
分程度下回ったものの、
未満の784円よりは上回
の事業所を対象に今年
実態を調査した結果を
薬剤師初任給は、時間外
通勤手当等を除き平均

22万5244円で、昨年より1660円アップしたが、引き上げ幅は一昨年の4984円より縮小した。企業規模が500人以上では22万5364円、100人以上500人未満では22万7026円と1662円の差があり、500人以上の企業より100人以上500人未満の企業で初任給が高い状況は変わっていない。

時間外手当を差し引いた4月支給分の平均給与額を見ると、薬剤師が平均年齢36.3歳で32万8177円、薬剤師2人以上の部下がいる薬局長は平均年齢49.8歳で47万4353円となった。昨年に比べて、一般の薬剤師の平均給与は前年並みの約1200円アップとなったが、薬局長は、昨年の約9900円の大幅アップから約2400円のダウンに転じた。薬局長の給与ダウンは2年ぶりのこと。

《7月25日》

病院敷地内に薬局を誘致 日本調剤、フロンティアが入居

滋賀医大

滋賀医科大学は、附属病院の敷地内に2軒の薬局を誘致することになった。公道に面した患者用駐車場の土地の一角を事業者
に有償で貸し出し、そこに事業者が自己資金で3階建ての施設を建設。1階に2軒の薬局とコンビニが入居する計画で、日本調剤、フロンティアの2薬局の入居を計画に盛り込んだ事業者を優先交渉権者に決めた。敷地内薬局は、来年秋ごろから営業を開始する見通しである。

同院の近隣には、滋賀県薬剤師会の会営薬局しかなく、院外処方箋は面に分散していたが、規制改革会議の議論から保険薬局の構造規制が見直されたことから、敷地内薬局を誘致することになった。これにより、患者が敷地内薬局に集中するのは必至の状況と見られ、せつかく面分業が定着していた地域にもたらされた規制改革の波は、一気に医薬分業を危機に押しやろうとしている。

規制改革会議での議論を経て保険薬局の構造規制が見直され、病院と薬局が同一敷

地内にある形態も原則認められるようになった一方で、2016年度の調剤報酬改定では、「立地から人へ」がコンセプトに打ち出された。しかし、この滋賀医大の動きは、患者の立地への回帰をもたらす危険性をはらんでいる。あくまで大学側は、「敷地内に薬局ができ、選択肢が増えることは患者のメリットになる。ワンストップで薬をもらえ、利便性は高まる」と利便性を前面に主張する。

同院の門前には、県の保安林が広がり、薬局の建設が可能な土地はない。正面出入口から数百m離れた近隣に滋賀県薬の会営薬局が1軒存在するだけだ。会営薬局への院外処方箋の集中度は20%台にとどまり、面分業が定着している。そのため、再診患者への影響は小さいと見られるが、新規外来患者が敷地内薬局に集中するのは必至で、県薬剤師会にとっても医薬分業の危機をどう乗り切るか、その対応に全国の注目が集まる。

薬剤師の仕事は安泰か？

考えよう！キャリアデザイン



キャリア・
ポジション社長
西鶴 智香

今回から「キャリアデザイン」をテーマに連載開始です！さて皆さん、「キャリアデザイン」と聞いて何を思いますか？キャリアをデザインする、その言葉通り「自分の職業人生をいかに設計するか」という意味なのですが、それがなぜ薬学生に必要なのでしょうか？

国家試験に受ければ、薬剤師として一生安定した仕事に就けると聞き薬学部に来た、という薬学生からすれば不思議に思うかもしれません。ですが今、薬剤師を取り巻く環境は激変しつつあります。以前の薬剤師が担当していた業務と、これから薬剤師に求められる業務は大きく変化しています。

先輩方から「薬剤師は一生安泰な

仕事よ」と言われたとしても、それは今までの話。これからは違うかもしれないと、皆さんには考えてほしいのです。

病院薬剤師は以前、外来患者の処方箋調剤を主に担当し、患者と話す時間は少なかったのですが、今や外来調剤は分業され、入院患者の薬剤情報管理や処方設計支援が主な仕事になっています。主に外来患者の調剤を担当している薬局薬剤師も、在宅業務や健康相談という新たな分野に取り組んでいます。一般用医薬品の販売は今やネット販売もあり、自由化もされました。薬学部も4年制から6年制へ移行し、より深く専門的な知識を身につけるための医療人教育に変化したわけです。

時代は移り変わるもの。IT化や規制緩和がますます進み、皆さんが入学した時に比べ、6年後の世界はきっと変化しているでしょう。人間も、今日の自分がずっと永遠に同じ自分なのではなく、いろいろな仕事経験や環境によって変化していくのが常です。

薬剤師としてどのような職業人生を歩み、専門家として力を発揮していきたいのか。今日の業界、今日の自分を見て「これ」と決めつけるのではなく、将来、薬剤師としてこんなことをやってみたい、を現実のものにするために今、何をどのように考えていけばいいのか。それこそが「キャリアデザイン」というものなのです。



マツキヨが
目指す先

地域医療と連携した
「かかりつけ薬局」を
推進していきます。

☎0120-047-300
<http://www.r-matsukiyo.com/>

株式会社 **マツキヨ** ホールディングス
<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

あなたにとっての、いちばんへ。
1st for You.